## 慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	カント国家及法律哲学と論理形式主義経済学(其一)
Sub Title	
Author	福田, 徳三
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1917
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.11, No.12 (1917. 12) ,p.1527(1)- 1550(24)
JaLC DOI	10.14991/001.19171201-0001
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19171201-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

當 當 共 **油**: 有 ニシ 株主ナ テ 會 社 ノ ル モ 利益パ保険 シ 會 祉 契約 ٧١ 保 者 險 **=** 

配

約

東京市 京橋區桶



電話束橋 

監 取 取 取 專 社 查 齊 締 締 締 総 役 役 役 役 役 役

郎郎 策亮榮 弼進

麻岩濱伊松北門 生本田藤原川野 義述 幾 一次長欽重禮之

H 學會雜 計 第 卷第十二號

論 說

國家及法律哲學ミ論理形式主義經濟學(其三

田 

あ る 2, 0 左 U 0) 以 外

Bd VIII. S. 273 ff.

Aufangsgründe der Rechtslehre

- der Tugendlehre
- Grundlegung zur Metaphysik der Sitten. 1785. 同 E# Bd IV. S. 385.;ff.
- Anfl. 1881. SS. neueren Staatswissenschaft; 373-394 Allgemeines Staatsrecht und Politik seit Ĭ6. Jindt bis
- Geschichte der deutschen. Rechtswissenschaft. 3 Abt. I. Halbband. 1898.
- 上 Vorländer, Kant uud Marx : ein Beitrag zur Philosophie des Sozialismus. 1911.
- <u>7</u> Schulze-Gävernitz, Marx oder Kant.
- $\widehat{\mathcal{H}}$ Immanuel Leben und sein Lehre. Ċι Aufl. 年號無 U(Frommans Klassiker der Philosophie herausg
- Ŧ Külpe, Darstellung und Würdigung 2. verb. Aufl. 1908 (Aus Natur und Geisteswelt 146. Bändchen.) 泧

Į 歪 Ξ + 六 ij <del>+</del> = =

博

 $\pm$ 

力

٠ ا

認

識

論

٤

經

濟

绾

學

東

京

ini Ini

鉨

商

業

詠

校

創

立.

py

+

华

誯

念

篩

구 글 築 水道 士 力 會 ト ٤ 漿 現 の 代 歸 趣(社 Ø 哲 學(大政 正 策 六 學 年 會 岩 論 波叢 書 第 店儿 發制 行。自 ---Ħ, -lî Ŧ -----lî Ξ Ţ

理 經 濟 0 現狀 VC 滿 足 世 3 ふ B 0) 其 數 決 U 7 8 次 3 シ 7

您 我 云 T 國 ヲ る 安、不 0 " Ŀ と論理形式主義經濟學 否 定 カ 6 n は 13 第十二號 題 ح 0 して題 エ・ゲ 在 か ع ч. ず。 らず 8 逸に ン、デ l E 0) 拓 は 13,00 75

人 12 U E 又 72 得 去 世 1 加 9 更 果 は  $\mathcal{C}$ 5 び 國 17 は C 民 7 殆 シ 自 1 17 旅 曲 で 黨 自 0 15 立 I 0) 否 W 0) ---9 笠 17 ず と 云 > r ~ 否 17 す ح 定 し 非 1 Įζ 0) 4 力 ず 我 3 ン 會 今 逸 を 0 は あ \$ 3 0 3 to は ч ず か 0) 72 能 却 國 其 لح 3 週 2 シ 0 9, 軍 C な 3 出 シ 可 シ 由 可 ユ ሯ ッ 0) 至 逸 返 工 r|a 終 げ は ツ 5 12 tz 軍 息 ----れた 7

7. 7, 改 る 大 氣 0) な 6 3 之 は 0) Ϋ́ な E と ッ 熾 旭 لح 失 烈 0 لح 17 ス か 0 主 Ġ 3" > 世 る K 12 0 r 0 ず 3 主 12 張 去 其 0) 9 z b T 7 理 T 主 71 7 シ ン 義 0) 1 力 な 定 M 0) ッ ず n 工. ず 3 る 0) **,** > 7 Ŕ る 71 左 ۲ 形 歪 フ Þ کے 右 江 る 連 第 其 H 誠 主 ح ч 望 17 鎀 ٤ ぞ 絕 1 大 12 從 經 1 な 就 17 9 說 濟 4 及 12 J b く T 學 高 3 左右 圣 3 5 Įζ 經 唱 3 濟 與 7 我 あ 湾 Y 命 學 Ш 8 ^ 班. 學 6 9 0 0) なは 慷

7 B 訊 6 n 力 72 **ト國家及法律哲學と論理形式主義經濟學** 3 史 派 は、 質 設 主 義 لح 進 化 第十二號 8 r 立 點 لح of.

心 定 ح 右 1. 否 る 3 な 其 0) 極 H 頂 17 全 見 0 主 17 至 17 達 0 底 17 7 72 75 3 B 2 3 す 0 る τ 理 3 0) 現 上 戼 叉 派 1: 叉 か ч. Ø) r ブ 3 É 主 先 立 生 h o 1) ち ধ r は 3 す 形 15 デ る :7 沚 2 他 會 ッ 學 國 策 あ 0) 3 9 は 政 者 1 的 7, 0) 6 次 12 0)

F. 之を 違 園 的 太 12 8 ン な 以 過 は あ 同 ヅ 元 外 な 3 じ £ 可 る 於 13 否 71 7 6 或 訑 點 5 0 る 程 故 VC 5, 奇 ン B 17 8 17 於 扳 n る 7 な 所 は B る D な 彼 遊 此 7 は 云 可 的 0) 21 S 0 龙 如 論 72 1 8 す 17 3 間 可 间 言 17 る U 智 0 ح 理 み 予 は は 之 シ で を 敢, 15 7 ス 3 か め 北 は T, 可 72 0 3 る 7 示 72 な b Ġ る る 0) 1  $\mathcal{U}$ 0) h は る لح 与沙 ス 8 12 云 0) 72 л. 华 人 は 在 0 剩 な 3

 $\equiv$ 

左 第十一 右 田 卷 士 は 經濟 學 論 12 於 訛 T 實 力 亿 ント國家及法律哲學と論理形式主義 論 Z 斥 H 7 先 づ 切 經濟學 0 第十二號 舰 念 8 浓 £. 可 其

1 式主義經濟學 せ B 7 8 B る 6

حح. 7 束 に「經 8 充 ч . 叉 化 脫 足 濟 而 72 1 せ 7 r 法 3 的 2, 以 3 甚 Z 17 る 2 オ IJ. 形 貨 7 ኟ 9 式 出 7 的 0 立 又 12 理 3 ح 9 72 念 る 質しの 經 から 念 E 經 濟 質 力 濟 貨 在 士 な ン 0 r E 12 於 以 17 のファ け. 9 τ 同 0 る  $\mathcal{T}$ 主 念 主 لح 張 す 心 72 せ 0) 主 可 中 理 る 主 主 5 B オ る 可 る 0) 以 6 <u>ا</u> ح を ず 1-9 し る 被 價 會 ζ 7 71 自 値 政 世 此 n な 3 5 即 0 72 0 Y す 12 5 る る > 改 理 博 著『貨幣 B म 15  $\tau$ B 造 念 主 0) 士 しらさ 纠 義 0 す E Z は な る 主 を 欲 L ح 12 道 導 b 此 價 張 ----切 な 者 0 及 値 世 71 博 华 b لح 拘 び B

る る J-मि る ટ્ ð 6 0) 雪 0 又 71 る す 72 3 0 定 ح る 15 徒 自 T 勞 0) 7 5 實 は は 容 3 し 8 ~ 制 r 0 文 化 斥 す 6 價 3 Z 念 17 Ę. FA r 經 る から IJ 年 的 カゞ 才 來 故 1 主內

3 ч 10 72 7 + る 7 而 0 n 可 主 7 7 漲 51 世 天 主 は 6 8 士 1: 力 る 0 0 向 ン 亘 7 音 n る 8 12 3 Ţ る 式 3 1: 頓 的 カジ 先 右 天 3 3 17 T そ 的 學 2 ど 左 直 せ 論 12 的 8 \$° し 膊 5 ば 於 理 貔 な C は V 其 17 V 念 彼 其 故 妶 事. る 12 12 事 は 0) 全 予 1: 切 立 < B 心 終 手 7 を E 0 理 8 局 -g 7 見 主 を る 8 義  $\mathbf{I}$ 見 0) 17 3 IC る 才 陷 9 囚 # C 13 過 ス に E չ は を 叉 し n 8 有 72 L  $\mathcal{C}$ 

3 C は す 0) 力 る 主 + r 圖 17 n b 0 多 71 > 圣 H 10 1r 士 かぎ 見 Z) C ら 间 ず Z  $\mathcal{U}$ 13 世 加 72 12 る Z 3  $\mathcal{C}$ ず 0) 15 かゞ E を B 性 用 見 (2) 公 17 恋

# 四

是o 題 れのは 6 づ 從o其 始 來o の ₹. のの之 मि 0) を 純o 型o 可 博 經o 能 智 士 湾のな 學0ら 日 B 7 250  $\mathcal{U}$ 純 40 理 る 翻® 所 經 限 局 0 7 そ。 猫 概 左 貔 念 右 忘る念 構 田 n<sub>o</sub> it 成 た◎何に 丁. 斯のな 於 0) 學o b. け 最のや る 本 重っと 最 主 要0 究 始 00 U 0 72 間のる 而 3 題のに U で0 任 7 あっる 終 る。順 0

8 1-7 1 廽 I. 世 曾@ 2 2 7.® Ξ.Œ 0 2 頂十 何◎ 3 的 設 r る にの得 لح 依のな 頁 天 10 V 9 的 て<sup>®</sup> 而 存 7 યુ∖ ⊚ 亘 開<sup>®</sup> て す 17 は 發◎此〉 3 初 0) 7 8 1 则 め 3 0) 7 50 O) 2 M® 圣 經 る 如。 す 72® 多)要 る 內 す 所 在 知 學、質の六 的 لح にの が な®於、理 天 T' 7 0) 前 0) 灯 的 3 内 ラ 經 120 % 要 的 約 素が、も 題 0) 濟 文 せ

大 20 て、雄 何、壯 人、な 12.3 よ、唯 つずだ て、感 も、嘆 開 發うる A. た、然 るいり 2 15 ないも いえ

一五三七)

决 に、か ح 定 又 依,經 飞 言 42 す 中 7 5 ح 17 7." 3 n 3 かず る たゝ T 叉 唯っに 17 ス 42 6 ず 力 る、 な 徒 百 す る ح 8 B 7 0 ず か な る な 3 自 る ک ح 左 右 0) 17 我 z 田 72 商 3, 試 博 る 經 み 士 主 居 から 至 る 未》 C 4 だい は 17 曾` を 予 収 2 9 To 力 9 T τ 何、ン だ ч 取 ح 0) 0) 人 ŀ ----る

Recht 12 企 於 7 第 先 づ Das 私 法 Recht 0 第 der 艑 häuslichen Gesellschaft J 第 Ξ 章 17 於 τ Von L dem ч 娯 姒 auf

天 0 17 主 脹 意 は す。 契 を通 (Uebertragung; translatio) 約)(B 溡 れ非 12 B 定 現 る難 (fragmentarisch, じ ţ 之 (二五三九) す 0 行 しの b C 相 の的 民 0 耳 移 7 分 な 法 プ 親 孙 的 類 B 17 法 收 aller erwerblichen 類 0 17 7 Ŕ 1 戶 設 客 す 0 否 partitio) 也 主 狗 體 的 3 る す Þ 캢 r|s ン 法 天 叉 12 す 束 契 0 Ŀ は C る 約 契 的 な ζC 知 契 法 要 約 Ę 0 0 ٤ 可  $\widehat{\mathbb{C}}$ C Ŀ Rechte aus 72 家及法律哲 な 的 0) 0 原 Œ る は 0 Įζ 窟 0 切 17 契約 契約 8 r .76 系 Verträgen )論理形式· 質 1.11 含 三種 網 3 は ţ 17 办 羅 形而 n 6 地 j あ 類 なり。 3 出 位 る ح E ず 念 B 0 定 論 る 占 は 是 3 的 7 5 14 全 U 法 的 生 だ 4. 可 間 を 自 分 る 4 5 己 類 Â L 0 可 0) 8 12 斥 定 C L 訓 完 0 く 7 10 0) 的 な 始 可 全 列 的 C £, 分 7 B E 舉 ેં. 先 人 得 لح 7 9

は、て、知って 質の何、汚、的、最幣のぞ、お、關、有 何、汚、的、最 是 18 此 ---r とのやれ、係、 は 0 とっ 0  $\sim$ はの Se. 2 12 0 な な 之。 爲 3 3 貨 朋 0 すの w 幣 71 6.3 0 を との厭 にのは は、可り る 0) よっず 3 8 ----りのカ نح 57 具 કુ め質 て、大 17 る 名 其o 髂 ど、粹、通 云、契、の C 使のの 商 共 足 朋 用の大、ひ、約、要 契 説 此 8 n な 具 n がの要 直o列 貨 自 否 ちの學、た 0 9 6 可O 至 そう意 分 幣 0 能。左 に 。 表 、 3 7 は 如 12) --- は、書 Įζ れ、即 な0 に 何 る0 掲 亚、 Willkür 國 要 をの験くと 40 -0 具. 通 民 5 此、 0 物 設o 的 同 30 上 價 間 n けo混°じ中 0, 貨o一 00 值 0) 15 ての合う く最 ず 0 謂り 幣o belästigter 於 な 明、 對 貨、に、全、大 次0 00 É T 幣、よいくいに 象 權 但 150 h0 桃o 引 といり、主し ていけ 20

す る 1 互o 暫` 能 鹘 商 かゞ 100 B 流っく は は フ 通0货0凡 ず 11. 72 すの幣のて 双 之 7 IV 3 30 00 0 一0 管0 物 放 般の在のの 的的中 7 要○ 定○ 最 の 0) 0) 0 M. 90 0 る 0) (Brauchbarkeit) る ح め 0) ረ VC 商 allgemeine C Y 0 何 得 收 III 事 得 可 1 人 C J-8 'A' 共 3 0 限 0) 日 寸 C den 國 6 3 る 定 Fleliss 民 0) ح 大 0 國 な 0 لح はっな 能 る は ŲČ. 民 る der 值 的 沉 人0 り 自 ٤ は 12 Menschen 3 接 通 富 B 是 關 illo す 11 のの之 Z 0 逃 な 范 す 3 動のよ 3 價 h

I E 亦 す 12 其 3 價 爲 8 し 15 17 3 叉 3 勤 は 均 Z 勉 を 4 は 貨 入 鹘 手 0) す لح 5 相 3 换 爲 3 L 83 Ξî. 可 3 12 商 自 b 5 m 勤 -1. 自

Ti.

論理形式主義縣際學

二二四四 第十二號

勞 な ず(中 审 け 何 ષ્ટ ば な な り中 容易 n は 略)故 此 な 等 n 12 を は 銀 ती す 行 場 る 纷 Įζ 17 并 は 17 な 剪 殆 ア 出 'n ッ 2 بخ **≥** 3 何 --->

Ħ. 六以 17 0 τ 4 0 のず し 償 が 貫大 0 72 大 5 納な 第目 相 爲 3 な ば === 合 たる 0 Ħ. B 物 始 る 亢而 百第 £ 0) 12 E 而 B 楽し 八二 71 流 此 商 彼て 十百 Ŧ 通 種 5 C の標 八八 X 3 1: 丁 0 宮力 於 延を 字 7 r の有 かる 0 均 仕す 得 人る 3 0) の浪 0 る かず < 3 装置 法 肵 此 爲 民 飾者 物 律 12 B Ì に即 的 7 E 12 b 者 は のち 以 要 は 0 力了 み君 此、 勉 .9 要侯 貢 彼 訓 n. 7 r しが 0) ኟ に、市 蒯 た彼 仕 E な 場 戟 るの る 物臣 宫宫 b , 71 世 物 2 に民 て、於 6 13 延 ح 000 7 n 7 0) は  $\mathcal{P}_{0}$ 叉 る 灾此 3 徵  $\widetilde{o}$ 如 は ---可 收 00 裝 何 取 3. す 如所 飾 12 引 商 く文の Z L 間 所 改旬 73 T かず M むに 0 1: 至 B 可 於 れ欠 5 な 臣 b 13 民相 ば隙 近 b 而 臣民 0 文お み 意り

右 は 濟 0 通 說 r 取 b T 之 17 カ ン 自 B 0 8 加 ^ 7 實 在 論

づ Curiosum y は 12 予 17 プ 0) か だ 次 獥 Z 3 7 3 7  $\mathfrak{P}$ な ح Ħ. 四三 n T 其 ٤ Z, 小 9 此 左 72 は 主 を云 0 經 3 n 3 值 丈 な のワク 12 0 N す な  $\alpha$ 文 4 3 る 9 0 す 4 Ŀ 12 z n 17 げ \* 方、而 史 あ 如 7 ば 12 自 上 的、 B 8 同 ズ 力 支、 3" 其 叉 る ムしたる 13 .72 **>** C 3 સું 原 3 幣 及 17 以 ばざ 此 123 至 0) 3 炙 Ŀ < (页 9 r 3 73 0) C は بخ 如 3 13 み S N 72 な 别 若 かぎ T. 右 3 Ţ 0 あ 0 力 3 出 尤 福 意 0) 値 ン ح 者 記 B な 7 は な 事. な 0) る 可 क्ष あ H 百 知 -li 13 b 是 8 士 n C 13 1: 。 ス ૪ 1-Z あ サ 0) T " 管

PU

Scholastische す 文 て)カ 75 百出 لح 六全 n C 12 頁集 以第 旬 證 0) 下六 17 す 稔 必 41 17 Ų 15 な 言 C ð る 木 云 博 3  $\alpha$ ĽĽ. 譯を 0) 此 W. 7 > ず 0 左 文 ح. 2 る r ^\$ る 見 0 可 から 文 至 B 通 7 八 叉 哲 事 2 德 7 な 我 3 大 形 Ŀ. 體 쑕 1= は 0 illi 0

reden, Last fallen, ganz für die als den Grammatiker der Unverstand Schule zunz geeignet sind, (auf SO Kanzeln kann das des Wortklaubers (logodaedolus). SO Ħ weing Volksschriften) den kritischen

話 0) 條 予 あ から 3 爲 17 8 な 力 0 E 貨 幣 論 r 提 出 す る 以 は 彼 かず 更 らに 論 r 進 B 15 る

汝、け、幣△度○ア、係 先といるいのかたのがに 貨 相 天、の、相、經△り○ム、於 觡 TI. は 3 0) は、的、轉、互、驗。其。え、て 交 Ō 郷 すいの、換い的い的のをのミ、の 當 屬 も、定、 給、概△以○ス、→ 的 の、訓、 付`念△ つ○ に、物 3 の'をo てo 據' 0 定 念 分\ 形、主△人○れい ist) 價 0 8 かぎ 式、知今及のば、 值 late 表》 の`的△國○貨○ (Werth 的 0 F 弁` み、概今民の幣の 要 120 を 念 が と。 具 な 立 一。 dicta) 認・ に△ 互0 は0 72 valor) 5 め、導 100 其0 通(permuitatio 3 7 體、全、其 く△ 流○ の○ 知 8 25 系、體、 實 80 通0 雕0 就 的 0 な と、に、質のかをの權のて 貨、 艞 nし、於よな白色のがのの 幣、 Ê ば な て、けいり publica) り△む○勤○公 を の、る、抽其、所の勉。共 云 他 法の法、象故、のののの的 ----律の律しは物の要の判 0 國 40 17 形。概、而、此、體。具。斷 比 民 pretium) v 而の念し、定、なのにのな 例 內 上oを、て、義、bo Loれ的 Įζ る 學。認、此、は、 TOK 分 に、め、に、拘、此口同のな 量 適、前、よ、束、の△時。り 17 合いに、り、契、説」に〇 對 す、掲、て、約、明今又。中 す、物、し、心、に、はなたの略 す 0 4 る 流 く、た、と、於、貨へ尺。 3

0) 云 5 17 ٤ ず U 定` IJ 6 づ nur U > た 0 3 は 定 自 己 な möglich 3 0) 言 可 3 9 葉 け スト Įζ n は、 25 Ę 定 C n b 120 義 72 7 r 4 7 ^ F 17 形 1 usum praecipuum et ordinarium ヴ 9 る た C 7,1 2 7 る ч 4 b T 4 主" ح w 0) 云 は 13 は な 40 0 左 あら Ŀ 左 7 3 ば 定 0 t X ず 之 如 5 な 4 Geld 17 何 な 3 云へ 節 9 120 E スミ 定義 る 17 consistere in alienando ist B 事 す 90 ば 十六 C ス 可 12 r 力 力 72 0 三卷 ン 正正 F 3 3 Sache, Fi. ۲ 底、 す 定 流 ح 3 72 لح 0 は ス deren 義 17 な カンな る 3 甚 ス 院 17 形 だ Ļ ント 6 \*

Ħ, that money has

another. Wealth intervention of Nations. of which Ed. Cannan, goods of 'n 29-30 all kinds are bought and sold, 9 exchanged

# カントの改造文は左の如し

C 12 لح 到 2 な Geld ist also(nach Adam Smith)derjenige Körper, dessen C 75 先 義 る づ な 17 10 5 ع 交 云 貨 b 3 7 幣 £ せら 商 7 8 1 3 0) 業 mit welchem K な 0 9 0) ic C 叉 然 使 4 的 な 3 5 要具 Menschen Ŧî. せ 國家及法律哲學と 7 な 5 71 n 3 17 苋 nnd 價 至 72 定 8 7 Völker る 第 せ **鲁西州大主義縣齊阜** 0 7 四 **ታ**ኝ 始め 竟貨 尺 始 る 叉 unter Veräusserung das mittel und zugleich 度 め n T なり 8 幣 は 0 交 einander 貨 Ó 换 τ. 觡 ح 旭 9 ラ 源 は C 8 Verkehr treiben" 叉た 商 < 及 此 3 業 0 使 み 用 其 す な 主 は らの 17 物 可 知 物 歪 交 し か É 12 的 は  $\mathcal{C}$ 11 17 交 ---ሯ 於 觀 ò 竇 價 至 换 7 買 289. 念 值、 6 1-0 4 は 17 -11-

(二五四八) カント 國家及法律哲學ミ論理形式主義經濟學 第十二號 

τ, 過ぎず。 4 જ 72 説さ 居 5 2 2 3 0 云 な b. £ カジ 如 强 3 勉の 1 似 要具 寄 b *ا*ر 0 點 し て叉た ある ----何 尺度 を求め なり ば とは 共 は 何 左 n 0 0 如 處 4 12

toil and trouble of acquiring and Ŗ. alone places गा price of the ָשׁי be ultimate everything, what 32. estimated and and compared. real it. everything standard by which the really costs to the Labour 71 īs. their alone, real value of all therefore, price man who ٠,٠ never money commodities wants to varying is. their acquire can Ħ. its nominal awo it,

لح は 認 近 3 0 ス 3 に『勞働』とあ 17 scholastische あら 力 行 ず 可 る 況ん を『勤勉』と改 Pünktlichkeit Þ 其 72 過 る 0) 事 世 小 B ४ 72 甚 8 は 3 だ 3 之 重 る z 大 B 有 7 な 72 0 穿 j o な ٥ 9 圣 及 ス 力 尺 5 3 度 7. ス n な 71 其 玆 造 云 3 ァ ч 高 0) 17 改 事 末 12 2, 滥 ・ス 業 葉 於 7

3 7 依 念 念 办; は り『笑 純 6 從 L لح 原 力 理 C 初 ン IJ. ini 0) る 可 Ł 7 から 0) す。 先 0) 17 天 る 天 み 6 8 的 > 7 2 要 素 لح 定 3 叉 6 な ラ 改 的 云 لح ラ・イ は る 忌 1 處 0) ð 其 n ک 左 し ૪ 山力 法 0) 0) 72 右 ح 12 ン 17 letc. 律 之 .2 斯 H る は = 哲 ŀ 圣 其 1 etc) か 可 學 = 其 艞 重 K 能 ス 說 0 念 0) う之を 要 な 0 價 17 B 0) n 定 主 値 は、同純 道 間 L 要 0) 發 題」、「 哲 的 T. な 最 見 3 理 終一 す 不 0 未 經 3 だ め ۲ 曾 Ĭ. 0 1-な ح  $\mathcal{L}$ 0) 9 何 は بخ 現 人 觏 心 的 11 Œ

C Ŋ 0) <u>∴</u> 1-到 底発 過知 る 證 於 力 ٤ 1 1 12 國家及法律哲學と論理形式主義經濟學 ŀ は は す: 0 0) n بخ 會 r b 0 子 企 n 72, 7 は 12 其 3 事 不 E T 指 少 摘 否 1 1 1 1 世 な h 牽 から 强 經 爲 re 8) 敢

二五五〇)

b 文 m 1 12 如 から 17 13 12 於博 b 4 百 3 づ は T 1. 有 0 きあ  $\boldsymbol{\mathcal{T}}$ で 力 元 言 天 す る 华 4 ン 本 0 的 3 概念 否 17 ラ・イ 8 此 を 其 云 < 0 な ч 主 0) は から 之を認 0 12 スー如 n 71 度 3 4  $\alpha$ 何 及 め 部三 て(タ ばざる 0 可能 17 3 之 自 しな 十月四十 もつラ 圣 > 田 鄃 ١٢ 開 な プ は 3 云ひ U 理 ス 違 な ス・カ 經 なし とを 會 し 濟 C 所 1: 3 8 حج 壆 ラ 何 丽 先天概 る づ 胶 3 定 』は発 る な 否 b 士 لح B n \$ 念 は ず。 去 諭 6 然 献 8 12 0 71 朋 世 密 な 9 ン b

# 莊 0 研 究

# 田 郎

窮 5 83 3 木 で 題 云 12 言 民 Z 入 12 る 先 Ċ 讀 7° 3 支 不 0 那 Ć C 孙 居 0 で 0 る 范 氏 宋 3 度 3 范 0 40 用 0 かゞ 家 文 思 3 法 ĪE. B ~ 公 12 本 4 3 は は ~ 0) 注 義 居 種 意 田 n 3 す K 自 至 で か 支 方 8 7 那 间 b 17 Z) 0 0 で 守 顧 7 說 あ 炎 明 法 3 武 國 范 せ な。 0 ধ 家 思 K ね H 組

通 支 之は 那 十一卷 往 戰 古 図 0 Ø 代 制 は 0 凡 公 4 カゞ 何 義莊の 商 時 鞅 頃 ינל を 用 5 る 崩 壞 C 當 し 國 始 强 8 兵 72 0 נל 策を講 云 3 8 C 制 支 度 那 0 0) 學 大 改 者 革は

第十二號